

トマト



夏の日差しに負けないぐらいの赤々としたその実は、リコピンによるもの。
リコピンは強力な抗酸化力により、生活習慣病や美肌に効果があるといわれています。

*連作障害が出やすいので、トマト、ナス、ピーマンの跡地には3~4年作らない。
肥料は少しずつ、回数を多くする。

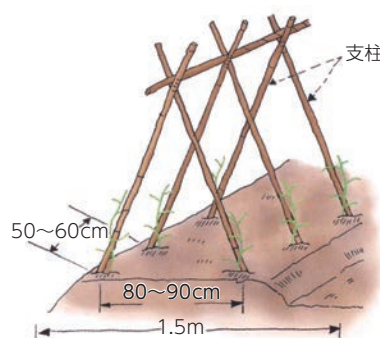
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			○	△		■	■	■	■	■	■	■	桃太郎、南光2号、レッドオーレ

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

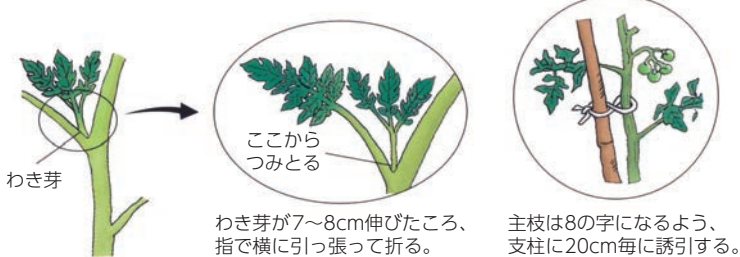
土づくり a当たり
堆肥 400kg
セルカ（有機石灰） 15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合
元 肥 a当たり
油粕 30kg
畝立時施用

- 2条植え：畝幅1.5m
- 株間50~60cm
- 条間80~90cm
- 第1花房の花が開いた苗を植える。
- 花房が通路側に向くように植える。



整枝・摘果

- わき芽は小さいうちにかきとり、主枝1本仕立てとする。
- 主枝の摘芯は支柱の高さで、最終果房の上に葉を2枚残してとめる。
- 1つの花房にたくさん着果したときは、形の良いものを4~5果残し、後は取り除く。



追肥・敷きわら

- 第1花房の実がピンポン玉程度になった頃から20日ごとに追肥する。(3回くりかえす。)
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料3kg/a、または油粕8kg/a)
- 敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。

防 除

病害虫	耕 種 防 除	薬 剤 防 除
疫 病	雨よけ栽培をする 窒素の多施用を避ける	
コナジラミ類	定植直後から黄色粘着リボンをつるす	アドマイヤー1粒剤 1g/株 定植時植穴土壌混和 1回
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	

※トマトとミニトマトは農薬によって登録の有無や散布量が違いますので、必ず農薬のラベルを確認して散布しましょう。

収 穫

- すぐに食べる場合は真っ赤に完熟したものを収穫する。

ピーマン



緑黄色野菜の代表格ピーマン。レモンと同じくらいのビタミンCが含まれており、風邪の予防や疲労回復、肌荒れなどに効果があります。

*連作を嫌うので、ピーマン、ナス、トマト等のナス科植物の跡地には3~4年作付しない。
低温に弱いので、無理な早植えをしない。

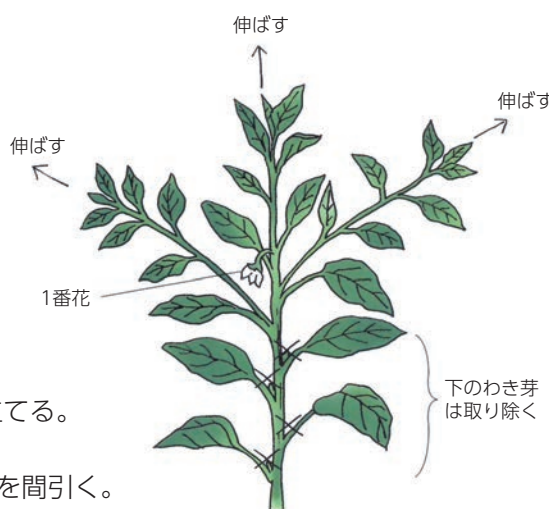
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			○	△		■	■	■	■	■	■	■	京みどり、グリーン800、京波

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	400kg
セルカ (有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
醗酵鶏糞	50kg
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 1条植え：畝幅150cm
- 株間：45~50cm
- マルチをする場合は、植え付け7~10日前に行い十分に地温を上げておく。
- 深植えにならないように注意!



整枝・摘果

- 第1花 (果) より下から出る2本の側枝を伸ばし盃状に仕立てる。
- 伸びてくる太い枝を支柱につり上げる。
- 生育が進み込み合ってきたら、日がよく当たるように、枝を間引く。

追肥・敷きわら

- 一番果の肥大始め頃から20日ごとに追肥する。
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料4kg/aまたは油粕8kg/a)
- 敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。
- 窒素過多、高温、水分不足は石灰欠乏症である尻腐れの発生を助長するので、乾いたら十分に水やりをする。
- パプリカは開花してから完熟するまで50~60日かかる。果実が100g以上と大きいため、変形果などは早目に摘果して草勢維持に気を配る。

防 除

病害虫名	耕 種 防 除	農薬による防除
疫 病	枝元を高くして植える 窒素の多施用を避ける 通風を良くする	
ウイルス病	早めに抜き取る	アブラムシ類の防除を行う
アブラムシ類	光反射フィルムマルチ 並びにテープを用いる	トレボン乳剤1,000倍 前日まで3回
ネキリムシ	幼虫の捕殺 周辺雑草の除去	ダイアジノン粒剤5 (4~6kg/10a) 2回 定植時全面土壌混和

収 穫

- 実が大きくなったものから早めに収穫する。
- 収穫が遅れると、赤くなったり黒ずんだりしてくる。